

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月14日

【四半期会計期間】 第42期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社安楽亭

【英訳名】 ANRAKUTEI Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 柳 先

【本店の所在の場所】 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番5号

【電話番号】 048-859-0555(代表)

【事務連絡者氏名】 財務経理部次長 長江 貴史

【最寄りの連絡場所】 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番5号

【電話番号】 048-859-0555(代表)

【事務連絡者氏名】 財務経理部次長 長江 貴史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	4,150,744	3,897,158	16,342,314
経常利益 (千円)	88,286	96,106	126,904
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は親会社株主に帰属する 当期純損失( ) (千円)	40,883	64,734	103,306
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	39,463	59,604	131,368
純資産額 (千円)	6,287,337	6,175,026	6,115,636
総資産額 (千円)	15,138,326	15,099,389	15,486,712
1株当たり四半期純利益 又は当期純損失( ) (円)	19.12	30.27	48.31
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	41.5	40.9	39.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第41期第1四半期連結累計期間及び第42期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第41期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、依然として企業収益は高い水準を維持し、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費も緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦、中国経済の減速等の海外経済情勢の不確実性や今年10月に予定されている消費税増税後の個人消費の落ち込み懸念等、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の根強い節約志向に加え、牛肉等の原材料価格の高騰、人手不足に伴う人件費の上昇等、コスト増加の傾向が続いており、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」、「無添加」の商品提供を堅持するとともに、加えて、付加価値の高いメニューの開発や既存店舗の改装を推進し、お客様に満足いただける店舗作りに注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高38億97百万円（対前年同期比6.1%減）、営業利益91百万円（対前年同期比0.7%減）、経常利益96百万円（対前年同期比8.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益64百万円（対前年同期比58.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は185店舗であります。内訳は直営136店舗、暖簾14店舗、FC35店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、新メニュー「やわらかBIGステーキフェア」、令和改元記念の「令和！祝いのタン祭り」等のフェアの他、アイドルグループ「ときめき宣伝部」とのコラボフェア等、安楽亭の楽しさを伝える企画を多数実施し、スマホアプリやLINE配信、Twitter等を中心にお客様へのご案内を展開してまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は32億43百万円（対前年同期比6.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は2億14百万円（対前年同期比6.3%増）となりました。

#### 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は28店舗であります。内訳は直営22店舗、暖簾3店舗、FC3店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「おめでとう令和 松坂牛カルビ販売」、「厳選7品50%増量」、「七輪房の日」、「七輪房ホルモン祭り」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを多数実施し、安楽亭業態同様、スマホアプリやLINE配信、Twitter等によるご案内を展開してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は5億71百万円（対前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は34百万円（対前年同期比22.4%減）となりました。

#### その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、FC5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「アグリコ（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は82百万円（対前年同期比18.8%減）となり、セグメント損失（営業損失）は3百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億87百万円減少し、150億99百万円となりました。これは、敷金及び保証金の返還による減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ4億46百万円減少し、89億24百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、61億75百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,139,434	2,139,434	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株で あります。
計	2,139,434	2,139,434		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		2,139,434		3,182,385		147,735

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,125,700	21,257	
単元未満株式	普通株式 12,634		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	2,139,434		
総株主の議決権		21,257	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式64株が含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社安楽亭	埼玉県さいたま市中央区 上落合2-3-5	1,100		1,100	0.05
計		1,100		1,100	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人アヴァンティアによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,955,696	2,949,424
受取手形及び売掛金	421,191	356,252
商品及び製品	127,219	118,481
仕掛品	956	1,598
原材料及び貯蔵品	601,611	610,472
前払費用	203,354	199,121
その他	53,918	42,163
貸倒引当金	5,098	5,012
<b>流動資産合計</b>	<b>4,358,850</b>	<b>4,272,503</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,697,335	2,764,308
機械装置及び運搬具（純額）	95,480	88,214
工具、器具及び備品（純額）	301,286	321,075
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産（純額）	16,213	8,473
建設仮勘定	221,222	3,722
<b>有形固定資産合計</b>	<b>8,335,463</b>	<b>8,189,717</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	32,011	86,979
その他	129,669	128,641
<b>無形固定資産合計</b>	<b>161,681</b>	<b>215,620</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	64,728	59,747
長期貸付金	5,896	5,744
長期前払費用	19,601	23,363
繰延税金資産	153,809	126,473
敷金及び保証金	2,376,896	2,196,981
その他	35,833	35,208
貸倒引当金	26,048	25,972
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>2,630,717</b>	<b>2,421,546</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>11,127,862</b>	<b>10,826,885</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,486,712</b>	<b>15,099,389</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,482	519,949
短期借入金	1,060,713	1,078,123
リース債務	15,109	8,395
割賦未払金	186,788	185,200
未払金	185,517	201,384
設備関係未払金	129,826	16,250
未払費用	475,777	504,005
未払法人税等	122,484	44,186
未払消費税等	119,535	110,583
賞与引当金	71,000	40,593
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	567,107	529,273
流動負債合計	3,515,639	3,251,242
固定負債		
長期借入金	4,503,555	4,322,518
リース債務	1,534	
長期割賦未払金	519,189	509,584
繰延税金負債	104,751	104,222
役員退職慰労引当金	368,569	372,585
転貸損失引当金	36,133	32,809
退職給付に係る負債	223,167	221,414
その他	98,534	109,985
固定負債合計	5,855,436	5,673,120
負債合計	9,371,076	8,924,362
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	495,853	560,587
自己株式	6,704	6,919
株主資本合計	6,143,632	6,208,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,611	32,063
為替換算調整勘定	384	1,062
その他の包括利益累計額合計	27,995	33,126
純資産合計	6,115,636	6,175,026
負債純資産合計	15,486,712	15,099,389

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,150,744	3,897,158
売上原価	1,521,323	1,418,103
売上総利益	2,629,421	2,479,054
販売費及び一般管理費	2,537,283	2,387,530
営業利益	92,137	91,524
営業外収益		
受取利息	349	253
受取配当金	1,095	1,196
受取地代家賃	1,863	1,562
貸倒引当金戻入額	57	161
その他	12,765	12,014
営業外収益合計	16,132	15,188
営業外費用		
支払利息	17,584	8,711
その他	2,398	1,895
営業外費用合計	19,982	10,606
経常利益	88,286	96,106
特別利益		
固定資産売却益		15,267
受取保険金		52,016
特別利益合計		67,284
特別損失		
固定資産除却損		494
固定資産圧縮損		50,185
賃貸借契約解約損	1,556	
訴訟和解金	2,050	
特別損失合計	3,606	50,679
税金等調整前四半期純利益	84,680	112,711
法人税、住民税及び事業税	17,046	20,640
法人税等調整額	26,750	27,336
法人税等合計	43,797	47,976
四半期純利益	40,883	64,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,883	64,734

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	40,883	64,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,917	4,452
為替換算調整勘定	497	677
その他の包括利益合計	1,420	5,130
四半期包括利益	39,463	59,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,463	59,604

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	140,337千円	131,426千円
のれんの償却額	3,403千円	5,701千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744		4,150,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744		4,150,744
セグメント利益又は 損失( )	201,571	44,480	2,118	243,933	243,933	151,796	92,137

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,243,193	571,094	82,870	3,897,158	3,897,158		3,897,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	3,243,193	571,094	82,870	3,897,158	3,897,158		3,897,158
セグメント利益又は 損失( )	214,225	34,518	3,538	245,205	245,205	153,681	91,524

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、(株)FSDから2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては60,668千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	19円12銭	30円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	40,883	64,734
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	40,883	64,734
普通株式の期中平均株式数(株)	2,138,449	2,138,268

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年 8月13日

株式会社 安楽亭  
取締役会 御中

### 監査法人アヴァンティア

指定社員 業務執行社員	公認会計士	小 笠 原 直	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	入 澤 雄 太	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社安楽亭の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社安楽亭及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。